

ロイテル通信員がバンドを歩いてあると英人師父の妻君たるアメリカ人のシムス・リー夫人が他の外國婦人一名と一緒に傷病支那兵一名に手を貸し路を渡らせてゐた。通行中の海軍巡邏兵が附近の手推車を奪取して来て皆で傷病兵を之に乗せ病院に送らせた。シムス・リー夫人は不幸なロシア人のダンサー達に非常な助力を與へ最近彼女等の子供數人を香港へ届けてやつた。これもダンサー達の財政状態はこの數日間カバレーが全然不景氣となつてゐるので深刻となつてゐる。

日露情勢第一〇二九

情報第四號

モスコウ R T V (タス) 新聞電報放送 (二十六日)

(朝鮮總督府遞信局聴取)

モスコウ報

ハルビン湖戦闘に参加せる赤軍將士及政治部員の行賞に關し「ブラウグ」は次の如く述べてゐる。「日本をソウエートとの戦争に捲込まんとした日本軍部は痛烈な教訓を受けて、當分の間はソ聯領を窺ふの元氣が失せてであらう、共產主義の高遠な理想と近代戰術に武裝せる勇敢な赤軍は至高の祖國愛に燃へて日本將軍を敗退せしめ傲慢なる日本「皇」軍をソ領より汚物の如く一掃した、赤旗は堂々モスクワセルナヤ(註—張鼓峰)に懸つてゐる。赤軍は日本軍國主義者の軍隊たる嫌惡すべき挑發者や匪賊に對し、限りなき憎惡を抱いてゐるソウエート民衆一億七千萬の後楯を思ひ勇敢に、我慢強く祖國の爲に戦つた。異常なヒロイズムを以てハルビン湖岸で戦つた赤軍將士は彼等が民衆の平和な労働を守り、フアシストの野蠻から社會主義を守り、全世界の平和を守つたことを知つてゐる、この戦闘は全世界に對し赤軍の偉力を示したものである、この國の軍隊も熱烈な愛國心を持つた赤軍には抗し得ない」と。

ニューヨーク報

中米で活躍したドイツ人間様の裁判に關し「ニューヨーク・ポスト」紙は「日本がニューヨークのドイツ・スパイと連絡を採つたことに對してはガラデ検事が確證を握つてゐる、合衆國に於けるドイツ及日本スパイの仕事の方向が計り知れぬものだ」兩國の警察部は主としてパナマ運河の防備に關する軍事目的物の資料を同時に手に入れた、アメリカ當局の日本スパイに對する嚴重な監視によれば、ドイツスパイが巧妙に日本スパイとの連絡を採つたものである。尙政府筋ではソヴェートへスパイを派遣する爲に五十枚の旅行證を得んとした事件に關係ある牒報部はドイツ許りでなく、日本も參加したと考へてゐる」と。

廣東陷落と長江戰線の推移は最後の勝利迄解放の戰爭を續けんとする支那政府及軍隊の決意に影響を與へなかつた、輿論は前例なき程一致してゐる、敗戦は國內の政治的團結を強化しただけであつた、支那民衆の團結を破壊せんとした日本側の計畫は失敗した。軍事筋の意見によれば日本軍の軍事・財政・經濟力消耗を促進するであらう、廣範圍のゲリラ戦と全線的抵抗は支那軍に反撃成功の可能性を與へるだらう。外人軍事オブザーヴァは廣東占領により「征服地域」に於ける日本軍國主義の基礎は強化されないうであらう、其の反對に在支日本軍の困難と軍事・經濟的緊張が増大するであらうと觀てゐる。

内閣情報部二〇・三一 情報第一號

—漢口陷落後の日本經濟— エコノミスト誌所説

同盟來電—不發表

ロンドン二十八日發

二十九日附のエコノミスト誌は「日本の戰爭費用」と題する論文を掲げ大要左の如く述べてゐる

廣東、漢口の攻略によつて支那に於ける日本の大規模作戰は一應終熄するであらうが、今後日本に課せられる問題は日本が今迄に吞み込んだものを如何に消化して行くかと云ふ問題である。支那の焦土政策によつて賣された大規模の破壊、戦術並に支那國民の消極的抵抗は日本この消化作用を極度に永引かせ且つ甚だ高價なものたらしめるは疑ひない、この間日本の經濟的逼迫は繼續されるであらう。北支事變勃發以來日本の追加豫算は約七十四億圓で政府公債總額は現在の國民所得の全體に等しい。戦費は現在大部分公債によつてゐる。しかしてその豫算額は一九三九年三月に終る二年間に九十億圓と見積られてゐる。

かゝる急速な公債發行の結果の一として日本銀行の紙幣流通額は三八年八月末迄に二割五分方増大してゐるが通貨の増加に拘はらず物資供給の増大が伴はぬため物價の昂騰を來した。